



たまて箱

～たまな市議会だより～



令和元年
6月定例会

令和元年8月1日発行

NO.55

委員会視察報告

総務

令和元年5月13日～15日

岡山県瀬戸内市 地域の特色を生かした移住定住を学ぶ

瀬戸内市は、人口37,300人である。移住者数は平成27年には、29人であったが、平成28年には211人と7倍に増加した。瀬戸内市は、移住交流促進協議会を発足させ、分譲地の販売促進員や移住推進員を設けてPRしている。また、分譲地に定住された方に対して分譲価格の30%の補助金を交付しており、効果がみられる。

徳島県阿南市 消防団員の安全管理に特化した防災対策を学ぶ

阿南市は、平成26年8月に台風11号・12号の襲来により、甚大な被害が発生した。その教訓から、消防団へ携帯型デジタル簡易無線機21台と、車載型デジタル無線69台を配備している。さらには、団員の活動服、半長靴、ライフジャケット等を、消防団安全対策設備整備費補助金を活用して、整備されている。本市としても団員の士気高揚にもつながると認識し、整備を進めていかなければならない。



▲阿南市での研修

建設経済

令和元年5月14日～16日

三重県伊賀市 伊賀ぶらり体験博覧会の取り組み及び忍者を切り口にした観光振興を学ぶ

伊賀市は忍者市を宣言するなど忍者をテーマにしたPR事業を行っている。外国人観光客向けイベントの開催や国際博覧会への出展など海外でのPRも積極的に展開している。「いがぶら」は、地域資源を活かした各種の体験型プログラムを用意し、年々参加者が増えている。外国人向けの施策や着地型観光の取り組みなど大変参考になった。

大阪府富田林市 伝統的町家の保存に力を入れた寺内町の観光振興の取り組みを学ぶ

市の中心にある寺内町は、現在国の重要伝統的建造物群保存地区に選定されており、今も古い町家が多く残っている。これまで観光地化を進めるより景観の保存に重きがおかれ、近年は地元が主体となって各種のイベントが開催されており、外国人ツアーの観光客が増加している。今後の重要課題としては、空き家が増加しており景観の維持に向け改善に取り組まれていた。



▲富田林市の寺内町の風景

文教厚生

令和元年5月13日～15日

群馬県高崎市 高崎市が部活動充実のため取り組んでいる部活動指導員の導入について学ぶ

高崎市教育委員会では、市内すべての公立中学校に、「部活動指導員」の配置を進めている。この取り組みは、部活動指導員が部活動顧問の教員に代わり、技術指導や大会への引率などを担うというもので、教員の負担軽減及び生徒は技術向上にもつながっているとの説明を受けた。本市においても大変参考となる取り組みであった。

埼玉県熊谷市 熊谷市スポーツ・文化村「くまびあ」見学

「くまびあ」は、旧熊谷市立女子高等学校の施設を有効活用した生涯学習センターで、合宿や研修施設として利用できる。子どもから高齢者までの幅広い世代の市民が、生涯にわたってスポーツ・文化に親しむことのできる施設を見学することができた。



▲スポーツ・文化村「くまびあ」

委員会報告

総務

令和元年6月20日開催

新市民会館について

質問 新しい市民会館の開館のスケジュールは。

答え 工事については、来年（令和2年）の3月末までに竣工し、開館は6月1日の予定で進めている。



▲現在建設中の新市民会館（令和2年6月1日開館予定）

地方交付税減額の影響について

質問 交付税の減額で当面は厳しい財政状況が続くのが。

答え 本年度も20億円を超える財政調整基金の繰り入れを計上しており、しばらくは基金を取り崩しの予算編成が続くと思われる。

建設経済

令和元年6月21日開催

プレミアム付商品券事業について

質問 対象者全員が購入限度額分の商品券を購入できるのか。

答え 見込まれる全対象者が購入限度額分を購入した場合のプレミアム分を予算計上しているため、購入可能である。

危険ブロック塀等安全確保支援事業について

質問 ブロック塀倒壊事故が発生した大阪北部地震から1年が経過したが、玉名市内の民有地の危険ブロック塀の現状は。

答え 4月の事業開始以降、危険ブロック塀の撤去について、所有者より問い合わせが続いていることから、危険ブロック塀はまだ存在していると認識している。



◀危険ブロック塀の撤去前

撤去作業中▶

◀撤去後

文教厚生

令和元年6月24日開催

小中一貫教育について

質問 小中一貫教育の成果を問う。

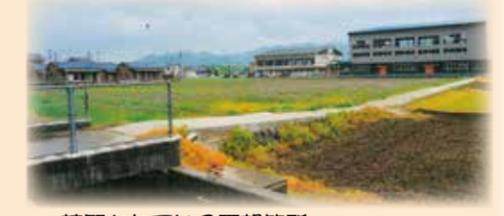
答え 小学校と中学校が同じ目指す子供像を設定して9年間を通して学びをつくり、子どもたちの学力を高めていこうと、授業づくりを行なっている。成果としてスムーズに小学校から中学校に移行する流れができつつある。

玉陵校区の地域コミュニティについての請願に対する委員間討議

質問 「玉陵校区における地域活動等のための多目的広場の確保・整備に関する請願」について、請願書中の「至急実施」という部分を「検討」に置きがえられないか。

意見（請願紹介議員）早急にとはいってもすぐにはできないことは区長さんたちも理解しておられる。

意見 請願が採択されてもすぐにできるものではない。段階を踏んで、理解のうえやっていく必要がある。



▲請願されている要望箇所

質問 小学校部活動の廃止に伴い、社会体育への移行はできたのか！

答え 部活動を引き継ぐ形でクラブが設立された。社会体育移行率は約30%であった



多田 啓二
(創政未来)



▲地域と保護者で運営する「大浜学童スポーツクラブ」(ミニバスケットボール部)

入したりする等影響があった。163名の児童について、部活動から引き継がれたスポーツクラブで活動を続けている。なお、スポーツクラブ未加入の児童に対しては、

において、市内の小学校で、既存の部活動が廃止となり、新たに設立されたクラブ等へ引き継がれた率は、約30%である。また、部活動の廃止による影響については、平成30年度末に部活動に加入していた児童は市内15校で443名おり、このうち280名が運動を止めたり、既存のクラブに加

質問 本年4月から小学校の部活動が廃止された。実際どれくらいのクラブが、社会体育へ移行されたのか。また、廃止によりスポーツ活動ができなくなった児童はどのくらいいるのか。

教育部長 平成30年度末

学校を通じて総合型地域スポーツクラブ「いだてん玉名」等、社会体育団体の会員募集のリーフレット等を配付し、児童及び保護者に対して情報提供を行い、本市の児童の運動促進と健康増進について啓発する。

その他の質問

市長の公約・市政方針について



QRコード

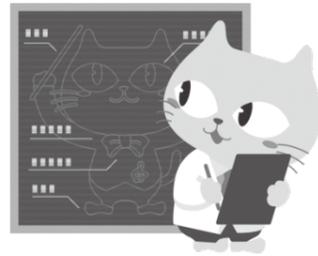
一般質問 耳マーク

ここが聞きたい

今期定例会の一般質問は6月14日(金)、17日(月)、18日(火)の3日間にわたり行ないました。

14日の質問議員	17日の質問議員	18日の質問議員
多田 啓二 7ページ	吉田 憲司 9ページ	西川 裕文 11ページ
吉田 真樹子 7ページ	徳村 登志郎 10ページ	松本 憲二 12ページ
内田 靖信 8ページ	坂本 公司 10ページ	前田 正治 12ページ
古奥 俊男 8ページ	近松 恵美子 11ページ	江田 計司 13ページ
北本 将幸 9ページ		

QRコードで、一般質問の録画映像をご覧いただけるようになりました！



今回の議会だよりからQRコードを添付しています。読み取りアプリにより各議員のコードを読み取っていただくことで、簡単に一般質問の動画をご覧いただけます。

動画再生までの手順

- 1 お手持ちのスマートフォン・タブレット等で、QRコードを読み取る。
- 2 URLを開き、各議員の一般質問画面に移動する。
- 3 一般質問の録画を再生する。

※場合によっては、読み取りにくいこともあります。その際は玉名市ホームページよりご覧ください。

簡単だから試してみてください!!



吉田 真樹子
(創政未来)

質問

岱明ふれあい健康センターを雨天時等の子ども遊び場として、特化した施設に！施設の利活用及び方向性について、協議を行なっています。

答え

質問 既存の施設が、年数回しか使用されていない状況は考えるべきである。横島・天水地域の温泉施設と比べて、利用数が少ない「岱明ふれあい健康センター」を子ども遊び場として再活用することを提案する。トレーニング室の壁をポルダリング仕様にし、健診室はボール遊び・落書きし放題・ゲーム・おままごと・折り紙等の各ブースを設けた子ども遊び場にしては。

について、庁内関係各課と協議を行なっている。岱明地域のほかの公共施設の利活用を含め、議員

健康福祉部長 現在、岱明ふれあい健康センターの利活用及び方向性

の意見も検討したいと考えている。

その他の質問

玉名市の国際交流について



QRコード



▲雨の日に天水の若宮児童館で遊ぶ子どもたち

質問 子育て支援は、親の自己肯定感を高める支援を柱に!

答え 子育ての不安やストレスの改善にカウンセリングの充実を目指す



近松 恵美子 (新生クラブ)



▲保健センターで行なわれている、妊産婦のための心理相談

質問 中学校での始業時に教室に入れない子どもが、年度当初で約40名であるならば、年度末には3倍の120名と予測される。

15歳以上の引きこもりも全国的に増えている今日、親が働きやすくする

ための支援だけでなく、子どもが心身ともに元気に育つための支援を強化しないか。子育て中の親を対象とする無料心理相談などの枠を設けないか。また、部活の文化部を多様化し、子どもが認められる場を増やさないか。

教育長 教職員的人的余裕もなく、新しく部活動



QRコード

質問

食品ロスの削減について問う



徳村 登志郎 (公明党)

質問 ①本市の削減推進計画の策定②消費者や事業所の取り組みの啓発③食品ロス削減の功労者表彰④フードバンク活動⑤賞味期限が迫った災害備蓄品の活用及び液体ミルク備蓄について問う。

③表彰規定等をもとに十分に精査し計画の策定に努める。②「3010運動」や「3きり運動」等食品ロスの削減に対する啓発活動を継続するとともに、地域に応じた施策を実施する。



▲消費期限間近の備蓄品は、防災訓練や小中学校の防災教育及びフードバンクへ提供

※1「3010運動」…会食、宴会などで開始30分間と、お開きの10分前は、自席で料理を楽しみ食べること
※2「3きり運動」…「食べきり」「水きり」「使いきり」を組み合わせ推進運動

抗感を持つ人も少なくない上に消費期限も短いため、自宅でのストックを啓発しながら、備蓄の検討も進めたい。

分検討する。健康福祉部長 ④本市では、食のセーフティネットを



QRコード

質問 待機児童及び保育士不足について

答え 待機児童解消のため、保育士及び受皿の確保を図っていく



坂本 公司 (新生クラブ)

質問 待機児童増加の要因の一つは、保育士不足が関連していると思われる。保育士や幼稚園教諭などは、子どもの生命を預かり、発達にも大きく関わる大変な職業である。私たち市民も、保育の知識を高め、保育士へ感謝

対策を伺う。

健康福祉部長 待機児童を解消するには、入所定員の増加と、保育士の確保が必要と考えている。市の対策として、保育士の資格を登録しているが、保育所等で勤務していな



QRコード



質問 大河ドラマ館、金栗四三翁住家、資料館の現在までの入館状況と、県内すべての小中学生に配布された特別招待券の成果はどうか。そして、今回「玉名市金栗四三翁住家・資料館条例」の議案が提出されているが、住家、資料館の現在の運営状況と今後の活用についてはどのように考えているのか伺う。



▲児童、生徒の皆さん ドラマ館に来てください。

産業経済部長 本年1月から5月末日までの入館者数は、「いだてん大河ドラマ館」が5万4千465人。「金栗四三翁



QRコード

質問

いだてん大河ドラマ館への入館状況と今後について



西川 裕文 (新生クラブ)

住家・資料館「1万2千950人。玉名市歴史博物館「1万

金栗四三翁住家・資料館は、「小田地区金栗四三PR推進部会」へ管理・運営業務を委託している。一過性に終わらないよう、「歴史博物館」や、和木町の「金栗四三の生家」との連携等を図りながら、より効果的な活用方法を検討する。



QRコード

質問 小規模で高齢化が進む米作農家への農業用機械購入費に補助ができないか

答え 限られた予算の下、認定農業者等の地域の担い手を対象とした支援を継続する



江田 計司
(無党派)

農家の農業用機械購入に対し補助できないか。



▲農業機械等整備事業補助金の確認検査状況

購入の補助事業は、国・県と同じく地域の中心的な担い手である認定農業者を主な支援の対象として、認定農業者の購入又は認定農業者を1名以上含む団体の共同購入を補助対象とし、作物別の経営面積や規約作成等を申請要件としている。今後も限られた予算の範囲内において、認定農業者の育成や確保を第一に、現行の補助事業のまま支援を継続していく。

質問 経営規模が小さく高齢化が進む米作農家にとって、高額な農業機械の買い替えは大きな負担となる。そこで本市の米作農家戸数と高齢化の現状はいかに。またこれら米作農家で経営面積が1ヘクタール未満の小規模

産業経済部長 昨年度における米作農家は1千800戸であり、これら米作農家の経営者数の年齢階層別の割合は70歳以上が全体の約41%と高く、8年前と比べ高齢化が顕著である。また、本市における現行の農業用機械

その他の質問

・これからの災害対策に
ご意見



QRコード

質問 市の観光資源について

答え 「笑顔をつくる10年ビジョン」に基づき、豊富な素材を生かした観光振興を目指す



松本 憲二
(自友クラブ)

い。昨年12月に策定した「笑顔をつくる10年ビジョン」において

質問 花の観光名所として思いあたるのは、蛇ヶ谷公園の桜、山田の藤、高瀬裏川の花しょうぶと認識しているが、それぞれの花の時期に空白期間があり継続しての誘客が期待出来ない状況である。そこで観光資源の開発として、他の花の植栽や水草枕温泉周辺へのエリア拡大を検討されても良いのではと思うが、見解を伺う。

市長 「花」を観光資源とした拠点づくりは、更なる誘客が期待できると思っているので検討していきたい



▲高瀬裏川の花しょうぶ

観光振興を掲げている。本市は、新玉名駅を有する東北の玄関口であり、多くの方々を訪れていた。観光資源の開発と県北地域の観光資源とのつながりが重要である。官民連携のうえ、人が集まる観光の拠点づくりを進めていきたい。

その他の質問

・玉名市の6次産業について



QRコード

議会の取り組み

災害対応関係機関と議会の意見交換会実施!!

調査研究テーマ
災害対策に関すること

意見交換会の開催

平成30年11月22日、12月17日に、直接災害対応に携わっておられる関係機関（国土交通省菊池川河川事務所・玉名警察署・NTT西日本・九州電力・有明広域消防本部・市消防団等）との意見交換会を実施。専門的見地からのご要望・意見を聴取した。



市長へ提言書の提出



提言を文書にまとめ令和元年6月28日議長から市長へ提出。

総務委員会において討議

令和元年6月20日開催の委員会において、先に開催した意見交換会での意見をもとに、執行部に対する提言を行なうための委員間討議を行ない、3点について提言を行なうこととした。

提言書の内容

- ①災害時における正確な情報の収集及び迅速な情報提供を行なう。
- ②自主防災組織の育成強化を図る。
- ③消防団員の人員確保、消防団員の安全装備品を充実・強化させる。

質問 路線バス廃止地域の交通対策を急げ

答え 新たな形態の公共交通導入を目指す



前田 正治
(共産党)



▲玉名市循環バス

質問 今年10月から路線バス梅林経由、舟島経由、伊倉バイパス経由が廃止になる。バスで病院や買い物等、利用者は早速困る。高齢者の交通事故が多発するなか、運転免許証の自主返納もためらう。街と地域を結ぶ「生活向

ではないか。

企画経営部長 現在、梅林地区においては、今後に向けた検討を始めてい

る。具体的には、地域に出向き、皆さんの日常生活における移動実態に関するヒアリングを開始し

上福祉バス」やタクシー券の導入など、早急な交通弱者対策が必要

その他の質問

・地域防災について
・税金滞納者の状況及び徴収の緩和制度について

には、新たな形態の公共交通導入を目指している。

ている。このヒアリングを経た後、案を作成し、その後、当該案に対する地域の意見を聴取する予定にしている。



QRコード

特別委員会視察報告

議会広報広聴

令和元年
5月7日～9日

三重県志摩市 議会報告会の取り組みを学ぶ

5月7日から9日で、三重県志摩市と松阪市に出向いた。志摩市では、議会だよりにおける作成要領を作成され、文字数や見出しの書き方など規定されており、それに基づき紙面構成がされていた。また議会報告会においては、「交通弱者対策」などテーマを絞って、市民と意見交換がされていた。作成要領においては、本市においても取り組む必要があると感じた。

三重県松阪市 見やすい紙面作りへの取り組みを学ぶ

松阪市においては、表紙にイラストを取り入れたり、全ページフルカラー化で見やすい紙面づくりに取り組まれていた。またQRコードにより各議員の一般質問動画再生に直接アクセスできるようになっており、議会だよりがより市民にとって情報公開できるような工夫がされていた。QRコードにおいては、本市でも今議会だよりから導入した。



▲松阪市での研修の様子

新たな取り組みを紹介

表紙が変わりました!

①議会だより「愛称」として「たまて箱」と名付。

表紙の題字

…… 習字 → デザイン調の文字へ。
(平成30年8月1日号～)



取り組み前



現在

②表紙の写真

…… イラスト調に変更。
(平成31年2月1日号～)

③一般質問ページに、**QRコード**をつけ、録画映像をご覧いただけるようになりました!



◀令和元年5月1日
No.54号
一般質問のページ



◀令和元年8月1日号
No.55号(今回)
一般質問のページ

福岡県福津市より視察研修受け入れ!

5月31日に、福岡県福津市より議会報の研修を受け入れました。

今回は、議会だよりの編集方法や、愛称を「たまて箱」にした経緯、表紙に地元高校のイラストを導入した経緯などについて研修を行いました。説明後、意見交換を行ない有意義な研修となりました。今後、委員会としてもアンケート調査などを実施し、より市民のニーズに対応したより良い議会だよりを目指して活動していきます。



「金栗四三地域創造戦略特別委員会 提言書」

～ その後どうなった?? ～

第1回目提言

(平成30年9月27日提出)

・玉名市への誘客のために

金哲彦氏「金さん」「金栗先生」の「金」つながりであることなどから、「金哲彦氏」を玉名市の「玉名市金栗四三PR大使(仮称)」に任命し、1年間広報活動等をお願いする。

金哲彦氏へは市のPRに限らず「フルマラソン大会」の名称を選考する際のアドバイスや金栗四三さんを題材とした「KANAKURI体操」の監修に関わっていただいております。7月5日金哲彦氏立ち会いのもと、専修大学玉名高等学校、玉名女子高等学校の生徒40名の参加により「KANAKURI体操」の撮影が行なわれた。PR大使としてではなく、玉名市全体のスポーツイベント等のコーディネーターとしての契約が望ましいと考えており、現在金哲彦氏と協議中である。



▲KANAKURI体操撮影風景

第2回目提言

(平成30年12月26日提出)

・一過性に終わらせないために

大河ドラマを起爆剤に、「ランニングの聖地たまな」として、新玉名駅などにランステーションの設置、新玉名駅・JR玉名駅を起点としたり、観光スポットなどを巡るランニングコースの設定や距離表示の設置など、好きなときに来て、好きなコースを好きなだけ走れる、ランナーの練習の拠点をめざしたらどうか。

金哲彦氏監修により新玉名駅を起点に2コースを設定。(共に約9km)【起点から南方面】新玉名駅→市役所前→ドラマ館前→玉名高校前→温泉街→新玉名駅 【起点から北方面】新玉名駅→玉杵名大橋→小田地区(金栗氏住家・お墓)→玉杵名大橋→新玉名駅
6月8日金哲彦氏と一緒に約120名のランナー(最遠地、広島県)がマラニック(マラソンとピクニックを合わせた造語)で試走された。ランステーションとしての機能は、既存の新玉名駅スペースを利用させていただき事としている。コースの中には玉名温泉街も含まれており、どの様に走るかは決められてない事から、玉名温泉街をスタート、ゴールにできれば、ランニングの後に温泉で汗を流して帰っていただけるものと考えております。



▲マラニック風景

第3回目提言

(平成31年3月25日提出)

・大河ドラマ館への集客と賑わいを創出するために

音楽の都たまなにふさわしいように、玉名市内で活躍されている音楽団体等にドラマ館の期間中、ドラマ館のステージを使った音楽イベントを開催できるような働きかけを行なう。

3月25日の提言以降、大河ドラマ館前イベントステージでは、2件の音楽イベントが催されているが、ステージの更なる活用を図るため、「広報たまな」でイベント実施者を募集するとともに、アーティストバンク登録者への呼びかけを行なった。今後はプロのシンガーソングライターによるコンサートなどが計画されている。



▲大河ドラマ館前でのステージイベント

第4回目提言

(平成31年4月17日提出)

・フルマラソン大会を契機とした取り組み

「日本マラソンの父 金栗四三のふるさと玉名 横島いちごマラソン大会」で、計画されているフルマラソンコースの新設において、大河ドラマ「いだてん」を機に、一過性に終わらせないために、また金栗四三氏の功績を称え、玉名市民をはじめ多くの方やランナーに新設の意義を伝え、もっとコンセプトを明確にアピールし今後継続していくために、以下のようなフルマラソン大会の名称を別途設ける。

提言されている大会名称においては、地域振興課を窓口として5月13日より1カ月間公募を行ない、北海道から鹿児島まで全国各地より874件の作品応募があった。審査・選考においては応募者の思いを加味しながらの協議を行ない、玉名市と金栗さんの両方をイメージでき、多くの皆さんに広く愛され、親しまれるような大会名称として同名での応募が47件と最も多かった「玉名いだてんマラソン」に決定した。



YouTubeでPR動画
配信中!ご覧ください



議会改革度
ランキングが公表され、
熊本県内で玉名市議会は

2年連続トップ!

議会基本条例の制定、政務活動費の公開、議会BCPの策定、
重点調査項目による意見交換会の開催などが評価されたため
(1,447自治体中)
★全国ランキング 2017年 204位 → 2018年 69位
★熊本県内ランキング 2017年 1位 → 2018年 1位

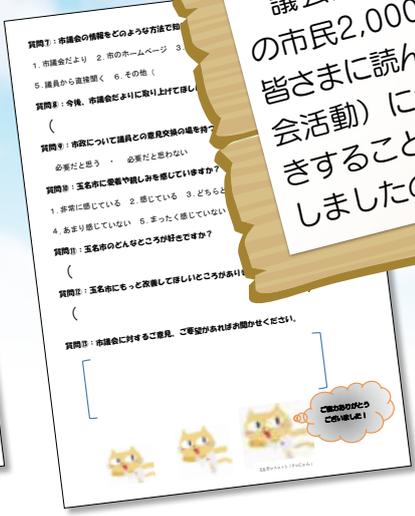
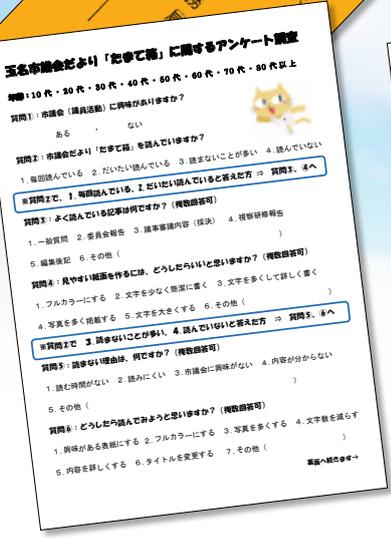
議会改革度調査ランキングとは?…早稲田大学マニフェスト研究所が、全国の地方議会に依頼し、議会改革や議会活動がどのような状況にあるかを数値化し、ランキングを出している調査です。

議会だより「たまた箱」に関する
アンケート記入のお願い

議会だよりに関するアンケートを、18歳以上の市民2,000名を対象に郵送します。より多くの皆さまに読んでいただけているのか、また議会（議会活動）についてのご意見等の率直な感想をお聞きすることを目的としております。7月末に発送しましたので、届いた方は回答にご協力ください。



玉名市マスコット「タマにゃん」



9月定例会の予定

8月 26日(月)	議会運営委員会	9月 13日(金)	一般質問(予備日)
9月 2日(月)	開会	17日(火)	総務委員会
10日(火)	一般質問	18日(水)	建設経済委員会
11日(水)	一般質問	19日(木)	文教厚生委員会
12日(木)	一般質問	26日(木)	採決・閉会

※都合により変更になることがあります。

編集後記

令和元年第1回6月議会一般質問に、私を含め13名が登壇しました。新玉名駅前開発は、市長の公約でもあり、又開発エリアは本市の貴重な財産であります。そのため目標を立て方針を決定し、市・地域及び議員が一体となり開発が進むことを切に願っております。令和元年が、みなさまにとって良い年になりますようお祈りいたします。
広報広聴特別委員 古奥 俊男

表紙のイラスト



つきじ はるか
築地 遥さん
この絵の主演はラーメンです。ラーメンに、特に力を入れて、写真のように本物に見えるように、玉名ラーメンの写真をながら時間をかけて少しずつ描き込みました。食べている女の子もかわいく描けたと思います。

議会広報広聴特別委員会

- (委員長) 北本 将幸 (副委員長) 徳村登志郎
(委員) 吉田真樹子 吉田 憲司
一瀬 重隆 赤松 英康
古奥 俊男 多田隈啓二

☆ホームページのアクセスは、検索画面で を入力してクリック!